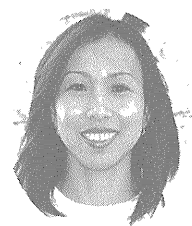


ずいそう

Enjoy my job!

杉村 陽子



伊豆半島の真ん中にコマツのショールーム、テクノセンタは位置しています。休み明けには動物たちが自由に遊びまわっていたのかな…と思わせるファンがあちらこちらにかわいらしい足跡とともに残されています。丘を少し登ると富士山を眺めることもできる、みどり豊かな絶好のロケーションです。通勤ラッシュとはまったく無縁で街へ出勤していく反対車線の渋滞を横目に見ながら通勤しています。およそ20分、春は桜の下を、夏は新緑、秋は紅葉と季節を感じながらのドライブで私の一日がはじまります。寒さが苦手な私はこれからはじまる冬はあまり楽しめませんが…。今は伊豆半島に大きな被害をもたらした台風22号・23号の影響でいつもの通勤道路は土砂崩れで通行止めになり、くねくね曲がった細い山道を迂回しています。そのため残念ながら秋の景色を楽しむ余裕はありません。

ちょっと仕事にふれてみますと…。テクノセンタは超大型からミニクラスまで最新の建設機械を展示しており、日本国内はもとより、世界各国からのお客さまをお迎えしています。さまざまな機械のデモンストレーションをご覧頂くのですが、そこに登場するデモンストレーターのひとりが私です。タイヤの直径が3メートルもある巨大なダンプトラックを目の前に、お客さまはまるで少年のように目をキラキラ輝かせ、いろいろなアングル、いろいろなポーズで写真を撮られます。お客さまの興奮が伝わってきてこちらまでうれしくなります。みなさんたいへん熱心に機械を見学され、様々な質問を受けます。その質問の数だけ私も知識を増やすことができ、日々勉強です。仕事に就いた当初は油圧ショベルとブルドーザの区別さえつかないほどの素人でした。機械を自分の腕のように自由自在に動かすのに時間がかかり、ライトをつけて日が沈むまで練習を繰り返しました。そんな私も今ではヘルメット姿も様になり、全国各地で開催されるイベントで油圧ショベルを使って習字を書いたり(写真-1)、ワインタワーを積み上げたりという“技”を披露しています。たくさんのお客の前で大人になるとなかなか体感するチャ

ンスが少ない、なんとも言えないドキドキ感を楽しみながら。

「どうして建機のオペレーターになったの？」という質問をされますが、小さい頃から働く車が好きだったという訳でもなく、答えにいつも困ってしまいます。きっとオフィスで働くより青空の下で体を動かして働くほうが向いていて、自然と引き付けられ、出会えた仕事なのかもしれません。ときどき腕の筋肉が鍛えられていくのが気になり、オフィスで働くOLに憧れますが…。

デモンストレーションで乗用車のごとく運転しているダンプトラックですが、初めて100トンダンプトラックを運転したときは運転席に乗り込む前に手に汗をにぎりました(実は高所恐怖症なのです)。あの時のハンドルをにぎった手とアクセルを踏んだ右足の感触は今でもはっきり覚えています。現場ではいろいろな場面に直面し、時には失敗しながら問題を解決していきます。失敗は成功の元だと実感することが何度もありました。さまざまな互いの協力、工夫、努力で一つの仕事が結果を出したときには、本当にやりがいを感じられると感ずります。この感覚は今後、私の仕事が変わることがあっても続いていこうと思います。経験も技術も知識も兼ね備えたプロフェッショナルな方々が近くにいた環境で働けることをありがたく思っています。

海外からのお客さまによく聞かれる質問があります。“Enjoy your job?” 私は自信を持って“Yes!”とお答えします。「一期一会」という言葉が好きです。お迎えするお客さま、仕事をいっしょにしていく仲間、出会う人たちとのつながりを大事にしていきたいと思っています。初めてダンプトラックを運転したときのあの感触、初心をいつまでも忘れずに笑顔でお客さまをお迎えしていきたいと思っています。

—すぎむら ようこ 株式会社小松製作所建機マーケティング本部
部品サービス統括室テクノセンタインストラクター—

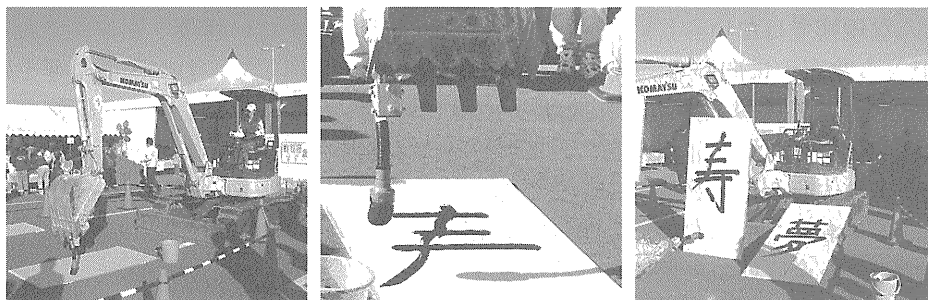


写真-1 油圧ショベルで
習字を披露